

災害から大切な命を守るために 今、できること

問い合わせ／危機管理課（内線2213）



**台風・大雨シーズンが到来
豪雨災害に備えましょう！**

近年、豪雨災害が頻発し、今まで水害が起こらなかった地域でも被害が発生しています。水害はニュースの中の出来事ではなく、自分の身にも起こりうることで、意識することが大切です。また、いざという時、迅速な行動がとれるよう、日頃から備えておく必要があります。本号では、災害に備えて、実際にどのような準備が必要かを紹介します。

増水した荒川（コスモスアリーナふぎあげ付近）令和元年10月13日撮影

1 ハザードマップを見よう！

WEB

災害時に市外の親戚や、知人の家などに避難したいが、市外の被害予想が分からない。そんな時は国土交通省の「**重ねるハザードマップ**」を確認してみましょう。全国109水系の国管理河川における洪水浸水想定区域（想定最大規模）を簡単に確認できます。市外に避難ができる場所がある場合は、事前に避難ルートを把握しましょう

重ねる
ハザードマップHP▶



WEB

地理情報提供システム「**こうのとりのつぶ**」で水害ハザードマップを確認しましょう。こうのとりのつぶはGoogleマップにハザードマップの情報を重ねることが可能で、細かい部分も拡大して見ることができま

す
こうのとりのつぶ▶
HP



紙・
WEB

「**鴻巣市水害ハザードマップ**」（令和2年9月号広報と同時配布）で、自宅の浸水予想や避難場所、避難ルートを把握しましょう



鴻巣市水害ハザードマップHP▲

キキクルを活用

大雨警報や洪水警報が発表されたときは、気象庁の「**キキクル（大雨・洪水警報の危険度分布）**」を使いましょう。キキクルは、危険度が高まっている地域を5段階で色分けして表します。自分がいる場所の危険度をキキクルで確認して、避難情報が発令されていなくても避難の検討をしてください。



▲キキクルHP



2 避難先を考えよう！

「避難」とは「難」を「避ける」ことです。安全な場所にいる人は避難所に行く必要はありません。災害にあったらどのように行動するのかを、普段から決めておきましょう。

新たな避難情報に関する
ポスター・チラシ▶



①自宅が安全な場合は、在宅での避難を優先	②親戚や知人宅などへの避難を考える	③車中泊避難を考える	④避難所へ避難する
<p>災害時に自宅が安全な場合は屋内安全確保が有効です。ハザードマップで3つの条件（○家屋倒壊等氾濫地域に入っていない○浸水深より居室が高い○備蓄が十分）を確認しましょう</p>	<p>立ち退き避難が必要な場合、安全な場所に住む親戚や知人の家に避難できるよう、普段から話し合っておきましょう</p> 	<p>①②が難しい場合でも、車をお持ちの方は車中泊避難が有効です。必ず安全な場所を確認し、雨風が強まる前に避難しましょう。また、エコノミークラス症候群にも注意が必要です</p>	<p>立ち退き避難が必要になる方は、事前に避難所の場所等を確認して、非常持ち出し品を準備しておきましょう</p> 

3 家族に合わせた非常持ち出し品を準備しよう！

被災してから救援物資が届けられるまでの間に必要となる非常持ち出し品を用意し、リュックサック等にまとめ、すぐ持ち出せる場所に保管しておきましょう。基本的な非常持ち出し品のほかに、家族構成によって必要になるものもあります。いざという時のために、家族に合わせた持ち出し品を準備しておきましょう。

家族に合わせた非常持ち出し品チェックリスト

高齢者		乳幼児	
<input type="checkbox"/> 常備薬	<input type="checkbox"/> 飲料水・お茶	<input type="checkbox"/> 粉ミルク等	<input type="checkbox"/> 着替え
<input type="checkbox"/> 補聴器	<input type="checkbox"/> おむつ	<input type="checkbox"/> 離乳食等	<input type="checkbox"/> 母子手帳
<input type="checkbox"/> おかゆ、ゼリー、濃厚流動食		<input type="checkbox"/> ウェットティッシュ	<input type="checkbox"/> むいぐるみやおもちゃ
ペット		<input type="checkbox"/> おむつ	<input type="checkbox"/> 哺乳瓶
<input type="checkbox"/> ケージ	<input type="checkbox"/> ペットフード	その他	
<input type="checkbox"/> リード	<input type="checkbox"/> トイレシート	<input type="checkbox"/> 生理用品	<input type="checkbox"/> 常備薬
<input type="checkbox"/> 水		<input type="checkbox"/> アレルギー対応食品	<input type="checkbox"/> モバイルバッテリー
新型コロナウイルス感染対策			
<input type="checkbox"/> マスク	<input type="checkbox"/> 体温計	<input type="checkbox"/> ウェットティッシュ	<input type="checkbox"/> 手指消毒用アルコール
<input type="checkbox"/> 石けん・ハンドソープ	<input type="checkbox"/> ビニール袋		



4

避難時の服装について知っておこう！

避難するときは、動きやすい服装で、2人以上での行動を心がけましょう。できる限り単独での避難は避け、近所で声を掛け合って避難しましょう。

また、できる限り高さのある道路を通るようにしましょう。浸水場所では、側溝やふたがはずれたマンホールなどに注意しましょう。



状況に応じて感染症対策のためのマスクを着用

ヘルメットや防災頭巾で頭を保護

長袖、長ズボン、手袋（軍手）を着用

非常持ち出し品をリュックに入れて両手をあける

冠水した道路では足元確認のために棒や傘を活用

明るい色のレインコートを着用

底の厚い履きなれた靴を着用。長靴は水が入ると動きにくくなります

5

避難所での5つの心得

避難所は、避難者自身が協力して運営をする必要があります。以下のことを念頭に避難するようにしましょう。

- ✓ 必ず受付を済ませる
- ✓ 周りの方へ配慮を
- ✓ 避難所運営に協力
- ✓ 必要なものは持参
- ✓ ルールを守る

受付の混雑を防ぐために、避難者名簿を準備しましょう。災害が発生すると短時間に多くの避難者が訪れます。円滑に受付を行うためにも記入できる部分は記入して世帯ごとに準備し、非常持ち出し袋などに保管しておいてください。

避難者名簿の書き方等の詳細は市HPからチェック



埼玉県防災学習センター そなえに行ってみた!!

問い合わせ／埼玉県防災学習センター（袋30番地・☎549-2313）



埼玉県防災学習センターはこんなところ

地震などの疑似体験を通じて、防災について学習することができる施設です。子どもから大人まで、楽しみながら防災についての学習ができます。

体験して学ぶ



地震体験

つかまっていないと立ってられない

1階には、地震体験コーナーや消火体験コーナー、防災診断コーナーなど、身体を使って学べるコーナーがたくさん！

見て学ぶ



2階は見て学べるコーナー。壁一面に広がる埼玉防災絵巻には、埼玉の名所がいろいろ隠されているので、探してみてください。

また、市販されている防災グッズの展示など、自分や家族が避難する時にはどんな物が必要か、展示物を見ながら考えてみましょう。

こんな活動もしています

防災、災害についての情報やアイデアをYouTube上で紹介する「そなえチャンネル」や、Zoomを使用して自宅から講座に参加できる「ぼうさいカフェ@オンライン」など、施設に行けない時でも、防災について学べるコンテンツに力を入れています。



▲埼玉県防災学習センターの皆さん



◀詳しくは防災学習センターHPをチェック

